



【乱れ打ちかわら版】あらため／季刊（創刊2001年）

2020年春・60号

信条・世に媚びず・粋にとらわれず
・言いたいことはハッキリ言おう

発行／吉田 進
携帯 090-3168-1063
FAX 072-863-0605
〒110-0015
東京都台東区東上野 3-26-10 FC204号

URL : <http://www.kawaraban.ne.jp/>
E-mail : info@kawaraban.ne.jp



正月、能登半島を日本海にそって北上していたら、ビニール小屋に人が。寒風が吹える中、のぞいて見たら海を描く人。「感服」、「寒服」

CONTENTS

世の中・社会・文明・歴史・家族・自分のことを書いています。

1995.1.17 阪神淡路大震災から学ぶ 「今だけ・金だけ・自分だけ」人間はアカン…………… 2	悲しみ・淋しさは意識を磨く機会 憲法と改憲を考えるシリーズ11 丸山 牧夫… 9
岸信介と闘い孫安倍晋三と闘う(上) 「満州国建設」の夢の果て 下山 保… 3	私たちの憲法を生かす小さな実践 母親を亡くして 大山 桜… 11
安倍晋三氏の顔には飽き飽きしている 三田 栄考… 4	夢の世界からの伝言 中田 恭子… 12
渋谷の交差点広場を占拠する群衆が唱えた －新年カウントダウン－ 原野 通侑… 5	「核発電所」と「原子力兵器」 杉井 ひとし… 13
報道は命がけの仕事——むのたけじ 信州のロザリアン… 6	笑門の福 藤村 清彦… 14
アラン・シリトー －長距離ランナーの夜と朝－ 市川 隼… 7	LIFE CROSSING余録…………… 14
理想の行方 河井継之助の中立論 阿部 敏夫… 8	編集後記…………… 14
	愛しい息子へ／OCDという病い 岩名 雅記… 15
	土方歳三の歴史ファンタジー映画を撮影始めます 増山 麗奈… 16

1995.1.17 阪神淡路大震災から学ぶ

「今だけ・金だけ・自分だけ」人間はアカン!

折りに包まれた神戸市中央区東遊園地



(いずれも今年の1月17日)

見事に復活した元町中華街



倒壊した阪神高速道路



「ドキュメント阪神大震災全記録」毎日新聞社より

キリスト像だけを残り、全壊したカトリック鷹取協会



死者6434人、全半壊家屋25万棟の被害をもたらした阪神淡路大震災から25年。発生した1月17日午前5時46分には、被災地の各所で追悼式典が行なわれ、遺族らの深い祈りが続いた。マグニチュード7.2の直下型大地震は、大地を引き裂き、人々の暮しを破壊した。長田区では各所で火災が発生し、被害を大きくした。

〈妻が叫んだ。「タンスには生まれ動かれへん」夫が駆け寄る。「火が来るで！」妻が押し返すように言う。「お父ちゃん、もういいから行って」。「かんにんやで、かんにんやで」。74歳の夫は近所の人に羽交い締め^{はな}にされながら、燃えさかる家を見つめた――大震災の朝を伝える当時の紙面から引用したと、1・17発行の読売新聞は書く。

25年たった今、確かに街は蘇^{よみが}えったようだが、分断された地域コミュニティと人々の絆は戻らず、未だ人々の深いキズは癒えない。まさしく今、政治の出番だろう。

以来、日本列島各地で台風、大雨による100年に1度の大災害がつづく。その状況は世界各地で発生しているが、原因は地球温暖化。

藻谷浩介さんが毎日新聞で「今だけ・金だけ・自分だけ」を書いている。〈自分を律することができない「大人の顔をした子ども」ばかりになって、日本は大丈夫か。汚職、公職選挙法違反の議員。「桜を見る会」の公文書を廃棄して逃げる安倍首相。公金を投じて株価維持の日銀〉とつづく。トランプ大統領は、そのダンツ人問だ。

被災者は、被害を「忘れないで」と訴え、前述の政治を正そうという人たちは、「人々の無関心が大敵」と言うが、さて皆さんは――。

岸信介と闘い孫安倍晋三と闘う(上)

「満州国建設」の夢の果て

パルシステム生協連初代理事長

東京・江東区 下山 保

私は、3歳の時(旧)満州に行き、8歳で日本に帰ってきた。開拓団だったので医師などはお目にもかかれないう生活環境で4年暮らした。敗戦後の暮らしと帰国行は、山崎豊子著「大地の子」の描写そのものの苦行だった。私たちの開拓団は、敗戦直前630名だったのが、21年9月時点で460名(生存率80%)になっていた(ある青年開拓者の日記)。満州に行かなければこんな事態にはなりえない。私の父親たちは内地での生活への絶望から「王道楽土」の扇動に易々と乗って希望に満ちた満州国へ渡ったことは容易に想像できる。



下山さん(前の男児)と家族(満州で)

満州に《理想の植民地国家》建設の夢を持って主導した。敗戦で夢破れ、戦後の日本再建の中で新しい夢を実現しようとした。その一つが日米安保改定だ。安保をめぐる戦いで私たちは岸を退陣に追い込んだが、岸は「改訂安保」の中に夢を残した。更に岸は孫の晋三に、夢の続きを託し、晋三は祖父岸の夢を自らの夢として着々実現を図ってきた。

の「先兵」が満鉄であり、「要」が関東軍と開拓団であった。戦前高級官僚の岸信介は、

た。戦後の岸の夢とは、米国と組んで日本の繁栄を図り、世界有数の実力国家に仕立て、満州無き後のアジアに日本が君臨することである。これは岸(と安倍)にとっては夢であるが、日本人にとっては悪夢ではない。アジアの中で安倍は、祖父のためにもかつて支配した「韓国ごとき」と同格ではありたくないし、同じく一時満州を支配下に置いた日本としては「中国ごとき」に風上には立たれたくない。日本国は少なからずこの悪夢に引きずられている。岸が夢を見た満州とはどのような所だったか。6〜8歳の目で見た思い出が幾つもある。冬は極めて過酷で、学校の寒暖計がほとんど毎日マイナス10度以下だったと思う。残っている写真で見る家はあばら家だが、オンドルがあったので家の中は寒くはなかった。

病気になるると悲惨だ。私はアミーバ赤痢に罹ったが、医薬は無く街の医者までの運搬手段が無く、死を待つしかなかった。助かったのは母が最期の手段として尻から食塩水を入れてアミーバ状の液体を

流してくれたからだそうだ。それでも内地にいるよりは、米はないけど腹いっぱい食べるものがあるからと、父母は言っていた。総じて日本人である開拓団は、当初は希望に満ちていたはずだ。

敗戦後は、そのつけがすぐに回ってきた。1〜2か月の間に、戦勝者である中国の国民党軍や八路軍、蒙古軍、ソ連軍、いわゆる匪賊といわれた地元の旧農民軍が、入れ代わり立ち代わり略奪をして行った。行政は崩壊し、開拓団は解体分散させられた。匪



昭和15年草創期の満州開拓の風景(筆者提供)

賊との銃撃戦や家屋侵入などは煩雑にあり、殺傷や婦女暴行があちこちで起きていたことは、帰国のため開拓団が再

結果した時分かった。私は収容された中国農民の納屋で、鼻血が止まらない病にかかり(壊血病か)、3日間、窒息死に瀕していた。やはり母親がつきつきりで鼻血を口で吸い取ったので助かったと言う。末の弟は、私の病の後、麻疹に罹り、疱疹で喉が塞がり死んだ。

帰国は敗戦の1年後から始まった。満州の奥地だったので最後の方になったらしい。捨石にされた日本軍はすでに解体され、あるいはソ連に連行され、武装集団に襲われる心配の中、自力で帰国するしかなかった。集合地のチチハルまでは歩いて4日かかった。弟は母が、荷物は父が背負い、私と妹は歩くしかない。8歳と6歳なので団に遅れ、その日の宿泊地に着く頃は団の姿が見えなくなっていた。水が無くなり、路傍の溜り水を飲んで腹をこわし、排便する時間もないので垂れ流して歩いた。チチハルから乗った列車は、無蓋で囲いもなかった。車上で乳飲み子を亡くした母親が、泣きながら子供を放り投げた姿が今目に焼き付いている。

安倍晋三氏の顔には 飽き飽きしている

東京 深川 三田 栄考

すごいなあ、安倍首相は！日本の政治上最長の在任期間——を自民党と国民から任せられているんだから。それどころか自民党の党則を再度改訂して四選まで延ばそうと、まるで独裁国のプーチン、習近平と同じだ。いや終身皇帝になったナポレオンまで届くのかな。そりゃ、彼は有能だよ。本音を隠してアベノミクスなる経済優先、国民の生活優先のフリをしながら、軍事優先、支配層優先、右翼思想

優先の政治を実践してきたのだから。巧みだよ。党内でライバルを排除し、側近を優遇し、批判される場、国会や予算委員会を憲法や国会法に違反しても開かせず。NHK、日銀トップに支援者を送り込み思いのままに動かす。新聞も消費税8%に据え置き、報道会社の好嫌の選択をして、キャスターを追いやりメディアをコントロールして国の各



衆院本会議に臨む国民民主党・玉木雄一郎代表（左）と立憲民主党・枝野幸男代表＝1月22日午後、国会

層、各界に綱を張り巡らして反対勢力を封じ込める。見事なものであって保守派からすると、そう文句を言うことは見当たらない。原因は一強多弱であり、結果も一強多弱である。《安倍の政治は許さない》と声高に叫ぶ人も多いの

に安倍首相を追い詰めるまでにはとても行かない。安倍政権が命永らえている最大の理由は3年半の民主党政権が期待外れだったことと、その原因でもある政策の不一致による分裂である。それ故に国民が安倍政権の代わりに野党に託そうとの気持ちにならないのが内閣支持率に現れている。古来より人が集まる所に一握りの上に立つ者と多くの

組みが良いものと思ひ込んでしまう。こうして現代社会を牛耳る者と、ついて行かざるを得ない者に分かれてしまいう。言い方を代えたと現代社会は一部の恵まれた者が大半の人々を牛耳りリードしている。恵まれている由縁に現在

世界を肯定、保守的になる。つまり、人が集まればそこに保守の温床ができるわけだ。

野党は99%の国民の代表の塊を創れ

現代は資本主義の勃興期よりも制度は遙かに改善、改革されている。見方によっては狡猾、巧みに、包括的になっている。国民は自分らが民主的に選んだ代表だからそう悪いことはするまいと思ひ込んでしまっている。保守政治に反発する層がそこそこいても目的も手段も意識もバラバラ。国民も政党もまとまらない。選挙で多数を取った者が国家権力を掌握できる。保守派は狡猾に小選挙区制を実現させたので野党はまとまるしかない。12月の立憲民主党枝野幸男代表の呼びかけに立憲野党が応えたが、未だ大きな塊を実現できていない。無論、野合だ、政策を妥協するな、反対だの声も多く聞く。歴史は繰り返さない。学んで同じ轍は踏まない。呼びかけた枝野氏は立場が有利なのだから、相手のあることだから事前に根回しも妥協も必要ではないか。自党も、運動も大事

だが、それ以上に大事なものは保守政権を倒すことだ。多くの、無党派の、無関心層も、野党がまとまった塊になってこそ政権交代の期待が生まれる。頓挫した合流談議も信頼関係を深めて是非まとめてもらいたい。巨大な保守地盤に對して野党がバラバラでは勝てるはずがない。活動は自己満足ではないはずだ。保守党を倒して生活向上と平和を推進する目的を優先すべきだ。99%の利益の為に活動するという共通理念がある限り、政策の違いは横に置いておこう。保守派は日本を牛耳る層の利益を代表し彼らの意見を代弁しながら国民政党と公称している。新野党こそが99%の国民の利益を代表することを証明しなければいけない。野党だから政策を訴えるしかない。政権党の自民党に横取りされない政策を打ち出すべきだ。所得格差の根本的は正、1億円以上の年収者の累進課税の強化、二世議員禁止とか、原発禁止、環境ECOの推進、北朝鮮との話し合いと国交回復、大企業の留保資産に課税、女系天皇を認めるとかたくさんあるぞ。

渋谷のカウントダウンを見てやろうと、寒風をついて出かけてみた。

今度こそはと警備が始まる前、7時半過ぎに渋谷に着いた。渋谷駅前のハチ公広場から道玄坂・センター街に通じるのがスクランブル交差点で、交通を遮断して会場が設営された。ハロウィンも仮装した若者もここで騒いだ。附近一帯では9時から飲酒は禁止で周りの店は販売禁止だ。地上に上がると、周囲はまだそんなに閉鎖したり立ち入り禁止の雰囲気もないので、広場の近くの道玄坂のT.O.H.Oで8時から始まる《屍人荘の殺人》で時間をつぶして10時過ぎに映画館を出てくるとさすがに大勢の人ごみになっていた。10時半に広場は開放され、あつという間に人々で埋められた。スクランブル広場に4ヶ所ほどステージやカメラ用の台などが設置されていた。人垣の向こうの道路は既に見えない。何やら赤い帽子があちこちに見える。よく見るとコココーラの宣伝帽だ。原宿駅に向かう公園通りの建物の壁に巨大な2020コーラ瓶と描いた広告が見えた。

渋谷の交差点広場を占拠する 群衆が唱えた —新年カウントダウン—

東京 上野 原野 通侑

このイベントにコココーラがメイン後援社でどのくらいか広告費を出しているのかと余計なことまで考えてしまった。再びハチ公像の横をスクランブル交差点へ行くこうとしたら、次第に前に進みにくくなると交差点の中ほどまで来た。

新年一般参賀の5回で
6万9800人、
寒夜空の渋谷に



カウントダウンの渋谷

10万8500人、
これは皇居を上回る
社会現象だ。

日本の正月の風物が消えて久しくて寂しいが、欧米では正月は新年の節目に過ぎない。日本らしい正月の新風景を誰か創造し演出してくれないものか。外国旅行で演芸ステージに各国の観光客が上がると、シャイな日本人は、楽しく騒ぐのがひとときわ苦手な国民性だと分かる。だから日本人発のイベント作りは苦手だろう。まだ時間は夜の11時を回ったばかりだ。正面にセンター街入口の太盛堂書店の

ビジョン、左にも右にもその下にも5ヶ所でも映し出されている。マイクを通じて広場に警備の声が響く。振り返るとハチ公広場の後ろに19年に一番変貌した街、渋谷の新しい顔、11月にオープンしたスクランブルスクエアのガラス張りの47階が、そしてJR線の向こうに200店舗が入るというヒカリエのビルが見える。左に目をやると駅前会館だろうか、カキ色で4℃とあった。数字が11時16分と変わった。まだだいたいあるなと思っていると、商店街会長やら渋谷区長が楽しいカウントダウンをと、事故のないようにと訴える。ハテどこからかなと見渡すと右手の特設カメラ台の先にステージカーの舞台がこしらえてあった。もう前にも後ろにも人人だ。

動こうとすると迷惑そうな顔をされる。カウントダウンは若者と外国人が集うとあった。私はハロウィンで道頓堀に飛び込む若者を見たが、カウントダウンには仮装もギャ

ルもない、外国人は当然ある程度の年配者だから騒ぐ輩も現れず、新年の訪れを迎える行事だった。右に中東系の6人の男女、左に西洋人の中年カップル、後ろからは中国語が、韓国語も聞こえる。多分、外国人が4人に1人はいらるだろう。いよいよ11時40分を過ぎ。舞台ではHIKAKU INなる日本を代表するYOUTubeのクリエイター達が「この場所に立てたことを一生忘れません」と叫び「楽しい時間を過ごそう」と呼びかけた。知らぬ間に5分を切ってジュウ・キユウとカウントダウンが始まった。ゴ・ヨン・サン・ニ・イチ、ハッピーニューイヤーと来た。アッサリ新年だ。あつという間だ。そりゃそうだろう。いずれの時間をとつても10秒はたった10秒だから。かくて東京2020の幕が明けた。新年になると直ぐに人は改札口へ流れ始めた。流れに押されつつ、やっと20分発の都心への地下鉄に乗れた。立った客もいたが、地下鉄はホテル泊客だろう、明らかに大半は外国人だった。私が下りたホームの時計は44分。

報道は命がけの仕事 むのたけじ

長野 信州のロザリアン

今から74年前の1945年8月16日、あの戦争から解放されて堂々と胸を張って街を歩ける喜びにあふれた日。戦争に加担したジャーナリズムは2度と国に戦争をさせない為に、戦争に従軍した記者たちは戦場での真実を書いていくべきだった。しかし、戦況の悪化を隠して読者を裏切り続けて軍部に追隨した新聞社などは、自らの手足を縛り責任を取らなかつた。A級戦犯だった岸信介が首相になるような、無責任な呆れた国だった。そんな状況の中で唯一、従軍記者だったむのたけじさんだけは、戦争の真実が国の検閲で伝えられなかった中で、自らの戦争責任をとって敗戦の8月15日に朝日新聞を退職し、1948年に故郷の秋田に戻って、衣食住が人間らしく生きられるように重点を置いた報道を信念とし、タ



「2016-安保法案抗議の集会」(筆者撮影)でのむのたけじさん

ブロイド判の週間新聞の『たいまつ』を30年間も発行された。その後も次男の武野大策さんにサポートしてもらいながら、生涯をかけて戦争報道の責任と反戦平和の活動を継続なさり、2016年8月21日に101歳の天寿を全うされました。

2016年5月3日の憲法記念日に行われた、憲法法案を守る安保抗議集会在東京の有明防災公園で行われました。その集会には野党の党首の皆様も発言なさいました



(筆者撮影)

が、ひ弱な印象でした。その後に登壇なさった車イスの101歳のむのたけじさんが、従軍記者として戦地に赴いた戦争の悲惨さや醜さを証言なさり、平和の重要性と人間の良心の可能性を信じて、力強いお声で壇上から訴えられました。私は以前からむのたけじさんの信念を貫く生き方に共感しており、この日に初めてご本人のお姿とお声を聞きました。絞つての凛とした迫力のあるお声で、戦争体験で得た教訓と懺悔による戦争反対の思いは発言に乗り移り、鳥肌が立つほどの感動で、最前列で聞いていた私は自分も何か行動しなければと思いました。そして、この時のむのたけじさんが、生前最後の公の場でのお姿になりました。私は写真を撮りながら拝聴しておりましたので、朝日新聞の社説に掲載されましたこの日のむのたけじさんの発言の要約をそのまま掲載いたします。

『若い方々に申し上げます』

「戦場では従軍記者も兵士と同じ心境になる。それは死にたくなければ相手を殺せ。正気を保てるのはせいぜい3日。それからは道徳観が崩れ、女性に乱暴したり、物を盗んだり、証拠を消す為に火をつけたりする。こういう戦争で社会の正義が実現できるでしょうか。」

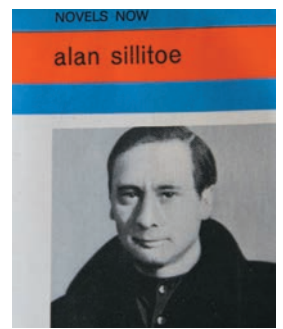
人間の幸福が実現できません。だからこそ、戦争は決して許さない!! それを私たちの古い世代は許してしまつた。国民の新聞の仕事に携わり、真実を国民に伝えて道をただすべき人間が、何も出来なかつた。」

2015年9月19日、安倍政権が強行採決しようとする『安保法制』に反対する為に、国会議事堂正門前の抗議デモに参加した数万人の1人として私も駆けつけました。歴史修正主義の安倍首相と自公民の議員たちの、あの理不尽な国会の強行採決は民意を愚弄していると思えました。トランプペット(トランプのペット)の安倍首相が憲法改憲を必ず成し遂げる決意として、また最右翼の細田氏を憲法改正本部長に再起用しました。敗戦により世界の人たちに平和主義の日本国憲法を遵守すると誓った歴史があるのに、憲法改悪に踏み切るならアメリカの戦争に加担する下請けとして一緒に戦争が出来る時代が来てしまいます。ジャーナリズムの使命は権力の監視/チェックなのに、今の政権への媚びへつらうおぞましさは目を覆うばかりです。国民の無関心さと諦めは、未来の平和を閉ざしかねないと思います。さあ、どうしますか!!!

アラン・シリトー

—長距離ランナーの 夜と朝—

鎌倉市在住 市川 隼



アラン・シリトー

英国がEUからの離脱(Brexit)の選択に走った国民投票は、2016年6月23日に行われたが、投票率は72%で、離脱支持は52%、残留支持が48%の接戦だったようだ。若者は残留派、老人達が離脱派だと言われている。

る。過去の大英帝国への郷愁が離脱へ走らせたのか、独逸人や仏蘭西人の後塵を拝するのを潔しとしないのか。今でも論争が続く、合意なき離脱を選ぶのか、合意の上での離脱を選ぶのか、或は、離脱そのものを再考する



英国がEUからの離脱(Brexit)の選択に走った国民投票は、2016年6月23日に行われたが、投票率は72%で、離脱支持は52%、残留支持が48%の接戦だったようだ。若者は残留派、老人達が離脱派だと言われている。

のか、世間の対立が絡みあっている様な印象だ。現在の米国では、22歳までをZ世代、23歳-38歳はミレニアル世代、39歳-54歳はX世代、55歳-73歳はベビーブーマー世代と呼ばれ、74歳以上の世代をサイレント世代と呼んでいる。米国らしく、各世代に対する選挙対策やマーケティング戦略が異なり、嘗て英国で呼ばれていた「怒れる若者たち」の世代は、米国ではサ

イルント世代に位置付けられているが、英国では、サイレントの殻を破って、EU離脱の選択では、影響力を示しているようだ。

アラン・シリトー(Alan Sillitoe)は、1928年3月に英国のノッティンガムに生まれ、2010年4月に亡くなった小説家だが、1958年に英国の作家クラブ賞を受賞した『土曜の夜と日曜の朝』で注目を集め、1950-1960年に英国で抬頭した「怒れる若者たち」(Angry Young Men)の旗手と見做された。J・オズボーン、J・ウエイン、K・エーミス達が大学出の作家であったのに対し、A・ウエスカーと同じように貧困家庭の出身で、工場労働者としての若者の体験を小説に描いたのが、上記の作品だった。既成の権威や体制に、若者の自己主張を突き付けたのが若者たちの怒りだった。シリトーの作品に、トニー・リチャードソンによって映画化された、『長距離ランナーの孤独』という小説がある。パン屋の現金を盗み、バレーしてまっぴらになってしまふ17歳の少年が感

化院(Borstal)に送られるが、長距離走者の才能を見込まれ、感化院の代表選手に選ばれる。恰も問題の少年に暖かい教育的配慮を加え、更生する機会を与えている教育者の様な顔を持つ院長だが、実際は少年達を賭けの対象とする偽善者で、少年は復讐の機会を狙う。偽善ぶりを示す有法者(In-Lows)の院長(大人達)に、戦いを臨む少年(Out-Low)の話で、やがて反撃する機会がやって来る。クロスカントリー選手権で断トツの一位を走り続けながら、ゴール寸前わざと失速して勝利を譲り、院長の賭けは敗北に帰する。「怒れる若者たち」の作家にも、体制の外から、或は、体制の中から、体制を批判する手法も多様で、怒りの矛先も異なっているが、シリトーの批判は、心にもなく誰にでも味方面(づら)をするような「偽善者」に向けられていた。

シリトーは、リズムカルな文章が評価されている作家で、大江健三郎と同じく東大仏文に学び、六回も芥川賞候補になった作家阿部昭は、河野一郎の翻訳を激賞

し、以下を例として挙げています。「タツ、タツ、タツ。ハッ、ハッ、ハッ。ペタツ、ペタツ、ペタツ。堅い土の上を足はひた走る。シュッ、シュッ、シュッ、腕と脇が灌木のあらわな枝にふれて鳴る。」シリトーの原文は以下だ。「Trot-trot-trot. Puff-puff-puff. Slap-slap-slap go my feet on the hard soil. Swish-swish-swish as my arms and side catch the bare branches of a bush」安部は次のようにも記している。「ランナーの心臓の鼓動がじかに伝わってくるような、徹底的にコロキアル(話し言葉)な文章は、一旦そのリズムに乗せられると、それが書かれた文章である事を忘れさせた。読みだしたらやめられぬ、読み終えて胸のすく、快作の見本と言ふべきものだと思った。」

米国では、74歳以上はサイレント世代と呼ばれている。日本の若者は政権支持派が多く、老人達には批判派が多いそう。英国では、EU離脱の支持派に老人達が多いようだが、嘗ての「怒れる若者たち」も、その中に組み込まれてしまっているのだろうか。

理想の行方

河井継之助の中立論

東京 阿部 敏夫

日本の内戦で最大規模の戦いは戊辰戦争である。明治維新が日本の夜明けとする一方であの成功が太平洋戦争の起爆剤になったとする見方がある。



河井継之助

越後長岡藩家老、河井継之助の中立武装論は極めて特徴的である。継之助の名は昭和43年の司馬遼太郎の『峠』によってそれまでほとんど無名に近かったのを一躍世間に広めることになった。

牧野長岡藩は雪国である。その寒さは遠望深慮を育成する。7万4000石の藩主牧野忠雅は次席老中として主席老中の安部正弘を補佐して開国を求めるペリーやロシアの特使プーチャチンとの外交交

渉に多忙を極めていた。忠雅は名君である。「年齢の老若、身分の高下を問わず」と政策提言を藩士に求めた。

新政府軍が長岡藩境に迫ったとき「挑発されても戦うな、戦はするな」と藩士を叱咤し、あくまでも中立を守ろうとする。

新政府軍、軍監岩村精一郎(24才)との会談が不調に終わるのは18才も年下相手のせいだけではなからう。人間力の差は、どうにも会談を突りあるものにはできなかつたのだ。

決戦が避けられないのを識った継之助は長岡藩江戸藩邸を処分する折に書画骨董をはじめ一切を売り払い、当時三門しかなかったガトリング砲などの銃器を購入する。

戦力をもって
和平を訴えた

戦力をもって和平を訴え続けたのである。新政府軍の長岡城攻撃により機関銃で応戦した継之助は左肩を負傷する。一旦栃尾方面に退却したが米沢、会津、上ノ山藩の応援を得て長岡城を奪還する。ここまでが継之助の華であった。北越戦争は避けられなかった。

戦に負けた継之助は会津に逃れる途中、八十里越えの難所で落命する。

八十里 こしぬけ武士の越す峠

辞世の句は今でも私たちの胸をしめつける。

米沢、仙台を盟主とする奥羽25藩に越後6藩を加えた奥羽越列藩同盟。会津を孤立させるなど連携する。長岡藩も加盟する。

戦争をしたくは、なかつたのだ。慶応3年(1867)徳川慶喜は大政奉還を申告し、10月15日大政奉還は勅許され成立する。

新政府の成立は12月である。慶喜は、ひたすら恭順につとめるが何としても武力討幕をめざす薩摩、長州は新政

府に、慶喜の参画を認めない。500日に亘る戊辰戦争は政権奪取のための計画的な戦いだったのだ。

米百俵で有名な小林虎三郎は友人であり継之助の親戚でもあった。若い時から秀才の誉れ高い虎三郎は継之助の才気を危ぶんでいた。暴走するかもしれないと危惧していたのだ。しかし継之助の才能はいつの時代でも、そうであるように包み込んで隠しておくことは出来なかつたのである。非常時にこそ、はな開い



長岡市内の河井継之助記念館。終焉の地、福島県南会津只見町にもある

て力を発揮するタイプだった。惜しい人間は早死にする。

順天堂大学の発端になる旧幕府の侍医、松本良順が継之助

の足の傷を見るのは落命す前、八十里越えの時だ。色々な才能が継之助を駆け抜ける。

慶喜に人望があれば
徳川は続いてたかも

歴史に「もしも」はないのだが、有力な幕臣たちや徳川幕府側の藩主たちの人望を慶喜がもつと得ていたなら徳川政権は、未だ続いたはずだ。

例えば小栗忠順、榎本武揚など幕臣にもそれなりの人材はいたのだ。長岡、会津、米沢、庄内、仙台など東北雄藩のみならず、越前藩主、松平春嶽など慶喜がいますこし毅然とした主張をすれば徳川幕府は存続し優秀な人材を失わずにすんだらう。政権担当者

の心意気が差をつけた戦争でもあった。

江戸城の無血を評価して西郷隆盛と勝海舟を書きたてるのは構わないのだが、北越、会津、函館の戦争は慶喜の決断で形を変えていたに違いな

い。会社の組織に照らし合わせてみればよく分かるだろう。

旧幕府側が失った人材は多いが、小栗忠順と並び河井継之助は最も貴重な才能であった。

悲しみ・淋しきは意識を磨く機会

「人生」という山が成長を助ける

東京 豊島区 丸山 牧夫

「自分の淋しさを感じてくれる友人はいない。自分ひとりぼっちだ」と思うことはありませんか。『千年を聴く言葉 ボイス』はそのようなとき、皆さまの心の中に流れてくる本です。本当に困りきったときに宇宙の生命「ボイス」の声を聴こえてきます。「宇宙の生命に名前はない」と告げるので、「ボイス」と仮称しています。精神を集中して「ボイス」の言葉に波長を合わせてみましょう。最初は難しく感じても、少

しずつ言葉が皆さまに届いてくるでしょう。聴こえた人は安心します。生きていく希望が湧きます。少しずつゆつくりと皆さまの中に流れていきます。「ボイス」の言葉は人間が生きていく上での素晴らしいアドバイスと感じたので、以下に要旨を記します。人は誰でも成長を望んで地上にやってきました。その成長の方法はそれぞれに異なります。どのような経験をしたいのかは、各人の意思に委ねられています。その成長を助けるために「人生」という山があります。人はそれぞれ違う山に登ります。登っていくうちに何のために登っているのか忘れてしまう人もいます。そのような場面に出会うと、「人は望んでこの山に登りに来た」と目に見えない宇宙の生命「ボイス」はそばでさやいています。

「ボイス」が人間に希望することは、自己が意識であることを認め成長することです。また、人間を応援している生命がいることに気がつくことです。意識はどこに行っても成長しようとしません。その成長の過程こそが大事です。人間は地上でさまざまな苦労に出会います。その一つの経験は、やがて人間を更に大きくします。悲しいことに出会うのは、この世での貴重な経験です。嘆くことも悲

しむことも大事です。そこに人生の価値があるからです。思い通りに人生を送れないことの中にも真理が隠されています。身近な人の死に出会うとき、物の喪失と悲しさを区別することはなかなか人間にはできません。物にとらわれることから抜け出すのは、相当の訓練を必要とするように感じます。

けれども、混沌とした人生の中でこそ人間に意識を磨く機会が訪れます。淋しき・悲しきは、意識を磨く良い材料です。孤独や淋しさをよく味わって受け取ってください。それは人間にとって大事な財産になることでしょう。また自分だけでなく他人の悲しみを自分の悲しみとすると、人間ははるかに成長することができます。

野の声

周囲のものがすべて変化し頼りになるものがわからなくなる時絶望か信頼なのかあなたが迷う時がやってくるすべてのものの価値が失われる時

災害と暗闇、飢えと不安変化を受け入れ

意識の存在を信じようとする

人間が新しい場所に行くことを期待して

耳に聴こえない声で目に見えない姿で

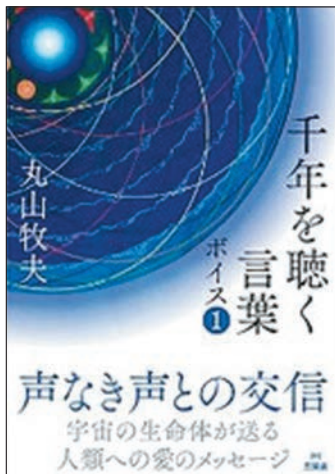
精一杯伝える

意識は永遠に存在し

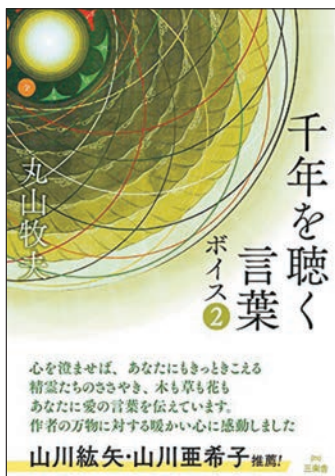
他の意識の成長を支えようとする時

新しい地球が生まれること

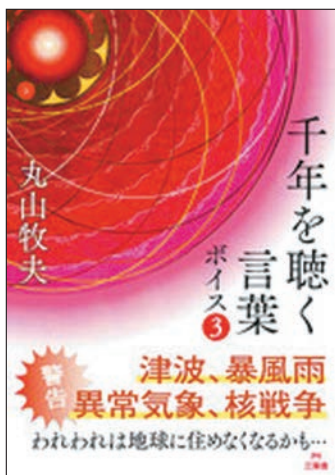
あなたはその中で光を届ける意識となっていく



ボイス1巻表紙



ボイス2巻表紙



ボイス3巻表紙

異界の世界を訪ねてみようと思われる方は『千年を聴く言葉』を読んでみてはいかがですか？ 申し込みは本誌まで（送料本誌負担）各巻定価1200円＋消費税

私たちの憲法を生かす

小さな実践

東京・江東憲法日曜塾

千葉 雄也

江東日曜塾13年

「江東憲法日曜塾」は、改憲にむけた動きが具体化しそれに憂慮した仲間達が、2006年11月から月一回集い、日本国憲法が規定し目指しているこの国の在り方について勉強する学習サークルとして出発しました。憲法を知らなければ改憲攻撃と闘えない、との問題意識でしたが、このような機会がなければ憲法など真剣に読むことはなかったと思います。

2011年福島原発事故から日曜塾のメンバーを中心に「憲法を生かす江東ネットワーク」を結成し、「さよなら原発一千万人署名江東実行委員会」「戦争させない江東アクション」の仲間達とともに宣伝行動等に取り組んできました。

安倍自公政権は急速に求心力を失いつつあります。政党再編も取りざたされていますが、政局は衆院選がいつ実施されるのか関心が移りつつあるように思います。いずれにしても2020年は、「失われた『平成』の30年」と言われる新自由主義政策から人間の尊厳を最大の価値とする政治へ転換できるのか、分岐点となる年であることは間違いありません。

もし、それが実現できなければ日本の国民大衆だけでなく、アジアの人びとにも多くの困難と緊張をもたらすことになるでしょう。

日本国憲法を勉強して

思うこと

日曜塾で勉強してみてもためて感じるのは、「日本国

憲法はよくできている」ということです。私は自称「左翼」として、物心がついてから60歳後半になる今まで、憲法などは所詮「ブルジョワ憲法」と一蹴する傾向がありました。しかし、よく学んでみると私有財産も、経済活動も「公共の福祉」によって制限することができ、天皇制も国民主権原理の下では「国民の総意によって」廃止することができると論理的帰結になっていることを知りました。但し、廃止のための規定はありませんが。



アメリカ合衆国の憲法への署名
ハーワード・チャンドラー・クリスティアー画

憲法の条文は変わらなくともその解釈は毎日変わる、それが憲法の原理だということも理解できました。「解釈改憲」は、何も自民党の専売特



ロシア憲法と、大統領就任宣誓するドミートリー・メドヴェージェフの手（2008年5月7日）

尊重、思想・良心、表現の自由、社会保障、公共福祉の増進等の諸要項を実質的に拡充することなど、私たちは、これまで以上に日本国憲法を活用する術を身に着けなければならぬと思います。

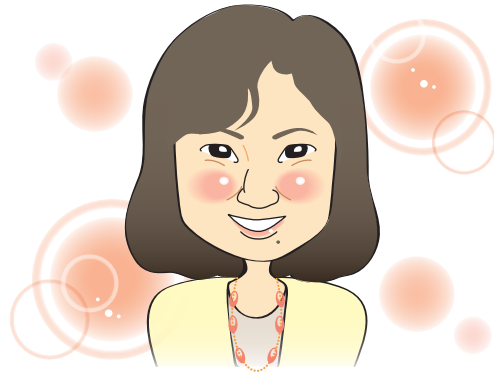
小さな実践・子どもの人権確立のために

日曜塾の仲間が中心となり一昨年「子どもの権利研究会」が立ち上がりました。この研究会は、「子どもの権利条約」の理念に基づいた活動を指針とし、地域に「子どもの権利条例」の制定を目指しています。現在の子ども達が抱える貧困・虐待・不登校・いじめ・発達障害・子育て支援に関する事項などの諸問題を整理し、少しでも解決する為のアプローチをするのがこの研究会の目的です。

「子どもの権利条約」が制定され30年、日本が批准して25年経過していますが、子ども達が抱えている諸問題の改善がどれ程実現されているのか甚だ疑問です。考え方や立場、意見の違いを乗り越え、研究会の継続も憲法を生かすための私たちの小さな実践です。

母親を亡くして

千葉県
大山 桜



自殺率は減少傾向にあるにも関わらず、このような家庭が多くある現状を打破したい、一家庭でもこのような家庭を減らしたいという私の思いを書きたいと思います。

母親の症状

まず、母親が鬱症状を発症したのは、2013年頃、一度私がオーストラリアに留学していた時でした。その時、一緒に暮らしていた祖母は私に心配をかけまいと、この事実を私には秘密にしていました。その時の母の症状は、祖母の前で威勢よく「死んでやる！」と言って家の前の道路

に飛び込もうとする行為をよく行っていたそうです。私が大学を卒業してからは特段穏やかに仕事をしながら過ごしていたものの、症状が悪化したのは2018年の8月でした。家に帰ってきてもご飯も食べず、たばこを吸ってリビングで体育座りをしている母。夜も寝られないといい、家では常に泣きそうな顔をしている母を見ることに限界を覚えた私は、休職を勧めます。「家のお金はどうすればいいの」私もすでに就職をしており、特段心配もしなくていい我が家の家計の心配ばかりする母。しきりに「お金がない」「でも、仕事を辞めたい」家に帰ったらそんな言葉ばかり。どうしようもなくなった私は母親の会社の上司に、相談をして休職をさせてもらうようお願いをしました。勿論、会社での仕事ぶりもミスが目立ったりしていたため、上司も承諾してくれましたが、気になったことは復讐の話です。勿論悪気はないと思います。休む前から「いつ復帰できそうか」「次の人をいれなくてはいけないかもしれないの」と、鬱病の

復帰目安は、一段階目は3か月、それから半年。と3か月周期で様子を見ていくそうです。なので3か月は確実に休まないといけないことを伝えらると、それなら新しい人を見つけないといけないかもしれない。その言葉に母も焦ったのか「1か月で復帰します」と。結局私の説得により、3か月の休暇の後、大丈夫といつて、職場に戻りました。それが2018年の11月でした。

私の後悔

後に分岐点になるのはここだったと。今思うと一番の後悔です。休んだ3か月後には母親の顔にも笑顔が戻っていて、私も昔の母親に戻った、またやり直せると思っていきました。それから何事もなくなりましたが過ぎていくのかと思っていきました。母親の症状は私の気づかないところで悪化してしまいました。いや、私が見えないふりをしていたのかもしれない。どこかで、母親の病気と向き合うことから逃げていたのだと思います。ろくにご飯も食べず、寝ることも出来ず、お酒を止めて禁断症状も

出ている母に「消えてほしい」「どうしてなの」と思ってしまったことは紛れもない事実です。

鬱病の家族を持つ人へ

私の母は、私と喧嘩したその日の夜中、服もきちんと着ずに自ら命を絶しました。もう、末期でした。その瞬間に戻ったとしてもできることはないと思います。もしも、鬱病の家族を持っている人がいるのであれば、治ってきたな。もう大丈夫だな。このサインが最大の危険なポイントです。それでも無理をさせず、休ませてあげてください。また、自分に関係ないと思っている方が居たらそれも危険です。私の母も10年前、こんなことになるなんて1ミリも思っていなかったでしょう。気づかないうちに自覚症状もあまりなく発症するのが鬱病です。少しでも、憂鬱な気持ちになったらどこにでもいいので、自分の悩みを打ち明けてください。そして、愛する人にその兆候が見えても、同様に、それ以上に心配してください。鬱病は立派な病気です。

夢の世界からの伝言

近頃は夜中によく夢を見る。懐かしい人が出てくる。前しか見ないで走り続けてきたが、私は時々後ろを振り返るようになった。思い出すたびに心が温かくなる人がたくさんいた。そしてその人たちがずっと今まで私を支えて守ってきてくれたんだなど改めて感謝している。

今日はその中で「ミイさん」と言う80歳をすぎて亡くなった懐かしくて大好きなお友達のことを話したい。会った時からおじいちゃんだった。優しく決して怒らずいつもニコニコ笑っていた。楽しいことを言っていて自分が一番大きな声で笑っていた。あまり食べないのに、お酒が好きで、私はいつもなんとか食べさせようと隣に座った。誰の邪魔もしない、そこにいるのが自然な感じのそういう不思議な人だった。友達の家が旅行に行く時はまるでその家族のようにつ

いていくものだから、その家の子供たちは自分の家のおじいちゃんだと思っ



温かい想いはずっと、ずっと、残る (中田恭子さんの画)

て、部屋に来て私と主人の真ん中に寝てしまうのに、一つも嫌ではなかった。子供のよくな純粋さと可愛らしさを兼ね備えた人だった。そして私の展示会の時は「俺は絵は何もわからないけど、ママの絵はすごいぞ。にっこりなる。」と仲間に声を

いさんの仲間はそれでも集まってくれた。そして私の展示会場で「ミイさんは来れないよ。ごめんね」と言った。ミイさんは若い時大好きな人がいたが何かの事情で結婚できなかったらしい。それからミイさんはその人だけを思い、誰にも優しく一人を通してきた一途な魅力的な人だった。

なってしまう。カラオケが好きで、マイクを持つと止まらなかつた。陽気で愚痴なんか一度も聞いたことがない。36歳も若い私を「ママ、ママ」と呼んだ。一緒に旅行に行くくと、具合が悪いと言っ

かけて集合させた。最後の展示会の日もそうだった。「明日日ママの展示会に行くぞー。会場に集合な。」とみんなを集めその夜の夜ミイさんは冷たくなっていた。あんなに電話では元気だったのに。ミ

ら、左へ行けば？」と笑った。ミイさんは主人と同じように私を心配して、待ち合わせの時は必ず改札で待っていてくれた。私があちらに行く時も、ミイさんは必ず迎えにきて、道

案内をしてくれるのだろう。思い出す度、心があつたかくなる。近頃、ニュースでは親が子にしつけと称して、死に至らしめているニュースをよく見る。子は未来。未来を作る責任は親にあり、未来を潰すのは間違っている。親は愛情深くあり、「背中を見て、歩いておいで」と言えば良い。親は自分が失敗しても、遠回りしても、「人間だから完璧でないけど、お父さんお母さんも天にいる方の背中を見て、あのようになれたら、と努力して歩いているのだよ。」とだけ言えば良い。

子供も、失敗したり、遠回りしたりして、頑張れば、必ずミイさんみたいな補佐役を天はつけてくれる。人生を終わる時にやっと天のあの方に近づけて、死んでもまた親子は愛を持って再会できる。そう信じて私は歩いている。

そんな私をミイさんは「ママが迷わないように見守っているから、安心して修行に励め」と夢に現れたような気がした。

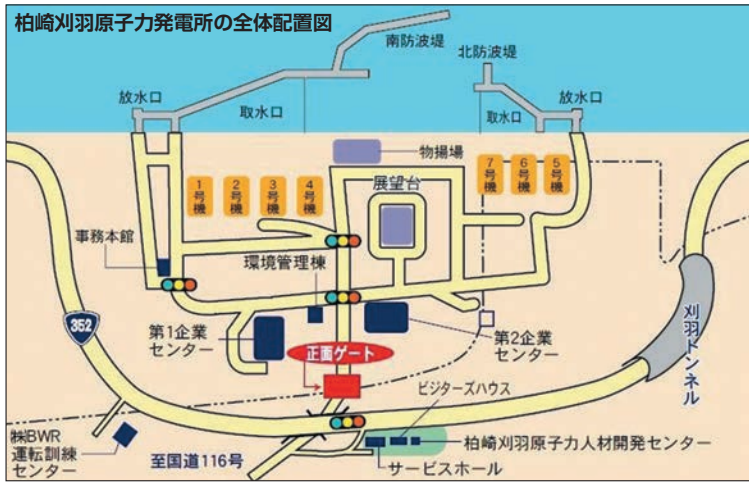
横浜 画柳会代表 中田恭子

「核発電所」と「原子力兵器」

新潟県議会議員 杉井 ひとし

日本は「言霊」の国だ。「言霊」とは、言葉に宿る霊のことだ。

えてきた。良い言葉を口にすれば良いことが起きる。逆に悪い言葉を口にすれば、それが現実になると信じてきた。



日本人は古くから「言葉には霊力が宿っている」と思ってきた。言葉に表すことによって、その言葉の霊力が働き、現実に影響を及ぼすと考

と怒ったりする。電力業界の人たちも言霊を信じているのだろうか。あるいは言霊信仰を利用しようとしているのだろうか。

「結婚式では『去る』『切る』『帰る』といった言葉を使つてはいけない」「受験生に『滑る』『落ちる』は禁物」といった、いわゆる「忌み言葉」も言霊信仰が元となっている。「そんな迷信をいまだに信じてる人、いるの？」などと言っている人が、家族が病気で倒れた途端、「病人の前で『死ぬ』とか言うな！縁起でもない」と怒つたりする。

東京電力に技術者として32年間、勤務した蓮池透さんは在職していた当時、柏崎・刈羽原発6、7号機のタイプを「新型沸騰水型軽水炉」と呼んでいた。ある日、上層部から呼称変更を命じられた。「『新型』という言葉は無用な不安を喚起し、地元の受けが悪い。『新型』ではなく『改良型』と呼べ」という指示だったという。



上空から見た箱崎刈羽原子力発電所

「事象」や「炉心損傷」といくら言い換えてみても、事

同社はこのほかにも「事故」を「事象」、「汚染水」を「滞留水」、「炉心溶融」を「炉心損傷」、「老朽化」を「高経年化」、「廃炉」を「廃止措置」などと言い換えている。

故は事故だ。福島第一原発で国際原子力事象評価尺度（INES）レベル7という史上最悪のメルトダウン事故が起きた事実が消えることはない。「滞留水」と言い換えても、汚染水の放射能濃度が下がることもなければ、量が減ることもない。

電力業界は「核」と「原子力」という言葉も使い分けている。

同じ原子核の分裂によって生じるエネルギーを利用したものでありながら、一方は「核兵器」、一方は「原子力発電所」とまったく違う表現を使っている。英語では核兵器は「ニュークリアウエポン」、原子力発電所は「ニュークリアパワープラント」だ。「ニュークリア」は「核の」という意味。同じ単語を使って「核の兵器」「核の発電所」と呼んでいる。

日本では核兵器と言うが、「核発電所」とは言わない。「原子力発電所」と言うが、「原子力兵器」とは言わない。同じ核分裂エネルギーを活用しているのに、軍事利用の場合には「核」、発電に利用する場合は「原子力」と呼び方を変

えている。

言霊の国の人々に「核」は恐ろしいものであったとしても、「原子力」はそれとは異なる安全なもの、国民生活や経済発展に必要なものと思っ

込ませる深謀遠慮なのだろう。東京電力が新潟県内だけで流し続けているテレビCMがある。同社が再稼働を目指している柏崎・刈羽原発の安全対策を説明し、「福島第一の事故の反省を踏まえ、私たちは災害に強い発電所造りに挑戦し続けます」とPRするものだ。

言霊の国の人々の意識に「反省」と「災害に強い発電所」をすり込もうとしているのかもしれない。放映を始めてからすでに4年以上が過ぎた。この間、テレビ局に多額の広告料を支払い続けているのだろう。「その金を被災者支援や政府への借金返済に回せばいいのに」と思っている新潟県民も多い。

言霊の国の再稼働反対派は「原発再稼働反対！」ではなく「核発電所再稼働反対！」と、「核兵器廃絶！」ではなく「原子力兵器廃絶！」と訴えるべきではないだろうか。

※蓮池透氏：北朝鮮による拉致被害者家族連絡会の元副代表。蓮池薫氏の実兄。「圧力重視」でなく「対話重視」を主張して家族会を退会。2019年7月れいわ新撰組から比例区で立候補したが落選した。

笑門の福

藤村 清彦

笑いは健康のサプリメントで、集団生活にも不可欠なスパイスだ。

今や孤独な環境にある人の間で、大声で笑うという運動が始まっている。テレビがそう伝えていた。日常の他愛もない親父ギャグの笑いも、「老婆は一日にして成らず」とか「いざキャバクラ」などに至れば、これはもう立派な文芸の世界だと思う。



「屁をひつて可笑しくもなし一人者」は川柳で当然可笑しいが、雅びな俳句でも、和歌に対して笑いを含ませた俳

諧が起源である。

「踊の手さらひつ、行く街小春」(小川辰弥)。

落語家は昔からこてこてのお笑い話芸のプロだが、今では漫才やコントまで、この業界は全盛期を迎えているようだ。翫間(太鼓持ち)という酒席での職業もあったが、絶滅寸前というのはせちがらい世の中で残念だ。

朗読も読書から一歩進んだ相手のある芸で、私も保育園や老人施設向けの、絵本や紙芝居の読み聞かせから始めた。現在所属する朗読教室では年一回発表会を行っているが、このプログラムの中にも「お笑い・ユーモア物」は欠かせない。特に全員出演の、「分け読み」によく選ぶ。だが上演時間もあって作品選びにはいつも苦労しているの、この際脚色の世界に挑戦してみようかと思っている。余生の短かさから見てどうかなど、笑い事ではない本気だ。笑う門には福来たる。人生の最後に、ベッドで寝たきりになって訳が分からなくなっている、常に笑顔でいる老人でありたいものだ。

余録

「時代変われば、人変わる」のか。下山保さんの記事を読んで、昔を思い出した。

敗戦間近の日本。突然、ソ連軍は日ソ不可侵条約を無視し、「満州」へ攻め込んだ。満蒙開拓団員を始め民間人へ強盗、強姦、強殺の限りをつくした。それは、命からがら帰国した人々の証言で明らかになっている。

さっそく、左の体制からは「社会主義の兵隊が、そんな

編集後記

それぞれの苦しい

人生を……

今号は3人の方の人生の吐露があった。初寄稿の下山保さんは3歳で父母と共に満州に渡った。それはその後の氏の人生を決定づけた。戦前、国家を挙げて満州国開拓を鼓吹し多くの国民は渡満した。希望に満ちた開拓団が追われて故国に逃げ帰る。まるで歴史のページをめくるようである。いつの時代も為政者は国

ことをする筈がない」と横やりが入り、のち、その論法は「ソ連の原爆はキレイ。正義の原爆」となっていく。

一方、敗戦後1945年6月、第90議会の「憲法第9条」改定をめぐる論争で、共産党の野坂参三議員は「戦争には不正と正義の戦争がある。侵略戦争に対し、防衛のための戦争は正義の戦争。憲法には戦争一般ではなく、侵略戦争の放棄を明記すべきだ」と主張。それに対し吉田首相は、「近年の戦争の多くは国家防衛の名で行われている

る。正当防衛権を認めることは、やがて戦争を誘発する。お説のごときは有害無益」と答弁した。

アレレと、誰でも思ってしまう。ご存知、吉田茂首相は自衛隊の生みの親で、その孫は麻生財務相。また吉田首相の座を引き継いだのが、日米安保の元祖でA級戦犯、岸信介首相。孫はご存知、安倍首相。世は無常の迷い道。そのご両人は今、この日本を何処へ連れていこうとしているのか。皆さんにじっくり考えてほしい。

民にばら色の夢を植えつける。次号では戦後の岸信介——安倍晋三の祖父・孫との闘いに続く。

大山桜さん、どこにでもいる普通のサラリーウーマンが鬱病に苦しむ母との看病・闘い・苦悩を赤裸々に綴ってこられた。誰もがこやかに笑う笑顔に隠された悩みがある。老いた父や母の看病疲れで自殺する人も多いが、突き放したくなるような精神的病の母との生活も耐え切れないものがあつただろう。筆者にはお母さんの分まで強く幸せな人

生を歩まれんことを祈りたい。更に常連の岩名さんはいつもと違った悩みをぶつけてこられた文だ。表現することを生業とする岩名さん。悩みは、精神の病気は人間だけの特有なものだろう。病む子供を、親を看病し続ける大変さは体験者でないと実感できないものだろう。愛おしさと煩わしさとが交錯しながらも吾が子に寄り添う夫婦と子息に声援を送りたい。

今号は奇しくも3人の苦悩をお聞きした。読者の心にはどう響きましたか？

時間を遡行できないならばせめてこの脚で/ 岩名雅記の Cm ジャニー31

愛しい息子へ／OCD という病い

いわな まさき／舞踏家、映画監督(フランス/南ノルマンディ在住)

鳴りつけた。案の定、息子は萎縮し泣き続ける。

連れ合いは「あんたの怒鳴りで一年間の努力が水の泡になった」と言っただけで外へ飛び出して行った。困った我輩は息子にこう宣ったものだ「床が汚いから歩けないと言えるのは生きている証拠だ。そんな裸同然で凍え死んだらどうする。まず着ることだ」と言っ

て鼻をかませ上着を着せズボンをはかせた。不思議に息子は素直にコートを着、ズボンを履いた。そのあと俺は息子の背中をさすり「大丈夫だよ」と何度も繰り返し息子を抱きしめた。

数十分も経って息子はようやく泣くことをやめ、自分で歩き出し、アニメを観始める。数十分経ったけれど息子は平穏だ。だからと言って我輩の問いかけに答えることもしない。(そりゃ当然だわな、あれだけ怒鳴られたんだからな)と内心猛省。そうこうするうちに連れ合いも外から戻った。

突然、息子が言った「お父さん、このあいだ頼まれたアニメ作ってみようか？」驚いた。今制作中の映画の中に出

てくる数秒のアニメーションを作ってみるというのだ。嬉しかった。息子にしてみたら僕に話しかけるきっかけを探していたのか知れないな。まだ2Dレベルの画像だが映画ができる頃には3D画像を作る技術も持てるだろう。感慨ひとしお／涙チヨロ／歎びあり。



寒中自宅付近で息子との散歩

と昨年11月末に書いたのがこのOCD(強迫性障害)という病はそう簡単ではな

ペリエで列車に乗る直前にこれが起こって往生したそう。さてこの正月元旦のことだ。今夜も息子はパジャマ一枚で布団の脇に立ち尽くしひとりで闘っている。「何とかしてあげたらどうだい」と連れ合いに言う。「いや、今一人で闘っているのだからそのままやらせればいい」。連れ合いは僕の100倍も息子に連れ添っているので全ての事情を飲み込んでいます。息子も最近自分を見ることが出来るようになったのか、泣き崩れ鼻水が出るまで立ち尽くして頑張っている。連れ合いがよく使う「固まる」という状態に入っているようだ。

「動けない」と息子が言う。「だったら動けるまで立っておいで」と連れ合いは百も承知で息子に言い放つ。俺は「頑張ってほしい」と祈念するほか仕様がなし。目に見えぬ敵が自分の中にいるという辛さ——とはどんなものなのだろう。

こんな私的な告白をして良いものだろうか、と迷いつつもフェースブックに投稿してみるととたくさんの方から励ま

しをいただいた。

連れ合いの気丈な態度を賞賛する声もいただいた。そんな中で同じような体験を持つ関西の友人がこんなアドバイスをしてくれた。「根底に不安があることが多いので、無理をさせず時間が経ってタイミングや気分の方の時に苦手なことをさせると、少しずつ自信がついてくるようです」ありがたいアドバイスだ。結論としてどんな困難があってもそれを辛抱強く見守る我々両親や周囲がいつの日か、息子を良い方向へ導いてくれると思う。息子も諦めてはいけなし、我々も諦めてはいけないということだ。



ミラノ公演の後のQ&Aから筆者。写真Michel Di Savino

ミラノから戻って以来、息子の様子はすこぶる良好。と思っていたら学校の中休みの今日の午後、突然息子は部屋の床が汚いと言っただけで鼻水を垂らし、シャワー上りの裸同然の姿で立ち尽くすこと数十分。

これが一種の病気であることは百も承知だが、いつも息子を気遣い助け舟を出している連れ合いとは逆療法で、割れんばかりの大声で息子を叱りつけたらどうなるか？ちよつと疑心暗鬼だったが怒

土方歳三の歴史ファンタジー

映画を撮影始めます

映画監督 増山 麗奈

日本史上もっともイケメン
な有名人って、誰だと思いま

すか？ 2018年WEB歴
史街道の調べによると、1位



Meichitoshizo 歳三の刀

【ロシアから歳三（写真中）の遺言をもってラストサムライがやってくる】

ロシアに渡っていた歳三の遺言を、現代のロシアの侍がもって日本にやってくる、というストーリーの映画を日露合同で撮影します。2020年9月にはロシアの五大映画祭であるアムールの秋映画祭にて撮影を行います。ロシアの国際スター、マキシム・コロソフ主演、ロシア文化省提携で年間15回の映画祭企画を行うゴットキノ社セルゲイ・ノヴォジーロフ氏がプロデューサーを務めます。ロシア側監督は若手気鋭監督のアンドレイ・ムシシュキン監督。日本側の監督を私が務めます。辰巳琢朗さん（写真右）も出演が決まり、大河ドラマでの殺陣アクションチーム（写真左兼田玲菜さん）が殺陣指導に入ります。

土方歳三17・3%、2位 織田信長10・5%、3位 坂本龍馬7・4%。ダントツ1位が土方歳三なんですって！私が住んでいる東京の日野市は、日本が誇るイケメン侍、土方歳三の、生誕地なんです。歳三さんが実際に植えた竹や、子供のころに相撲をとった大黒柱が残っている生家は月に2回オープンする「土方歳三記念館」として国内外からのファンが駆けつけます。関東三大高幡不動には土方歳三が伏見の戦いの際に高畑不動尊の住職にあてて書いた直筆の文も展示されております。土方歳三は、見かけだけではなく、心もイケメン。境内で木に登っては行き交う人に鳥の巣の卵を投げつけるようなバラガキだった歳三は、函館の地に散る直前まで、故郷のことを思う句を

詠んでいます。「よしや身は蝦夷の島辺に朽ちぬとも魂は東の君やまもらん」歳三の俳句の腕は沖田総司に笑われるほど下手だったそうですが、逆に、思いが伝わり胸を打ちます。そんな不器用なところも含め愛さずにはおれません。

土方歳三はロシアで生きていた？

ところで、私は今函館に散ったと書きましたが、本当に函館で土方歳三は戦死したのでしょうか？歳三の死には不可解なところがいくつもあります。一つは、首も遺体も見つかっていないことです。新選組の近藤勇局長は、殺害されたあと、板橋に首を晒されました。新政府軍は副長である土方歳三の首も晒すことによってその力を誇示できたはず。しかし、首どころか遺体も見つかっていません。二つ目は、土方の墓標も見つかっていないことです。戊辰戦争・函館での死者の墓標の写しは発見されていますが、最後に土方歳三の名前を加えています。順序でいえば最初

に土方歳三の名から始まるのが筋なのは。三つには亡くなったといわれている場所と、銃の位置を考えると、射程距離が数百メートル足りないことです。

歳三の死の直前、歳三の部下であった16歳のテツは、歳三が最後まで戦ったという文書といま私たちがイメージする洋装の写真を、日野の歳三の生家・佐藤家に届けるため、横浜まで乗り込むよう歳三に命じられました。部下をアメリカの貿易船に乗せ、本人はロシアに行き、その先の未来を見据えながら、明治となった日本を陰から支えていたのではないかと。

歳三を函館で経済的にサポートしていた蝦夷開拓にかかわった元近江商人、佐野専座衛門は、ロシアとの貿易で巨万の財を成していた人物。ロシアへの貿易船を手配することは容易かつたはず。戊辰戦争で共に戦った榎本武揚は初代ロシア全権委任大使。日本が近代化する中で、榎本と歳三が連絡を取り合い、日本を北の大地から応援していたという仮説はいかがでしょう。

壮大な歴史ファンタジーサムライムービー！製作費を集めています。公開は来年予定6月。応援お願いします。

《歳三の刀》製作費カンパ募集お願いします。

口座名：ユーラシアエイガサイ ゆうちょ銀行 10150-94241451 店名 ○一八 店番018 9424145